

| | |
|-------------------------|--|
| 研究課題名 | 腹部手術における末梢神経ブロックの鎮痛効果の検討 |
| 研究期間 | 実施許可日 ～2030年3月31日 |
| 研究の対象 | 2013年1月～2019年12月の間に広島大学病院で施行された予定腹部手術のうち、術中に末梢神経ブロックを併用した症例 |
| 研究の目的・方法 | 当院で施行している腹部手術後の末梢神経ブロック施行症例の鎮痛効果や合併症を後ろ向きに検討し、安全でより効果のある抹消神経ブロック方法を検討する。 |
| 研究に用いる試料・情報の種類 | 情報：診療録と麻酔記録から対象症例の年齢・性別・身長・体重・既往歴・現病歴・手術病名・術式・手術時間・麻酔時間等の患者背景、術中・術後に使用した薬剤（投与時刻・投与量）・末梢神経ブロックの種類・投与薬剤・投与量・投与時期、術直後を含めた術後の鎮痛状態を転記する。 試料・情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科 麻酔蘇生学 教授 堤 保夫 |
| 利用または提供を開始する予定日 | 2016年8月31日（実施許可日以降）以降随時 |
| 個人情報の保護 | 得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。 |
| 外部への試料・情報の提供 | ありません |
| 研究組織 | 本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科麻酔蘇生学 教授 堤 保夫 |
| その他 | ありません |
| 研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先 | 研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。 また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。 広島大学病院 麻酔科 担当者：講師 加藤 貴大 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5267 |